

3年生特別活動研究授業 参観者の感想

- ◎つい最近起こった中学生の事件をタイムリーに取り上げ、それを自分たちの行動と結び付けて考えさせたことで、より身近に、そして重く考えることができたように思う。また、「青中ネット憲章」の項目に沿ってふり返ることで、「青中ネット憲章」の意味や価値がよく分かったと思う。頭で分かっているてもできない理由について、正直に自分の行動をふり返ることができていたが、じゃあどうすれば防げるか、という対策についての思考と発表のまとめが時間足らずで十分できなかったところが残念だった。これをどう全体に返していくのか、今後への活かし方が気になった。3年生の授業の様子は大変落ち着いていて、しっかり話し合い、発表できているのにはたいへん感心させられる。これまでの指導の成果がよく見えてくる。
- ◎事故直後～受刑者の死～中学生からの悪質メール…わずかな時間で教室の空気を一変させ、事件に対して憤りをもってふり返ることができる、よい導入であった。怒りをもってとらえた中学生のメールと、「青中ネット憲章」をとおしてみる自分たちの現状は、ともすれば少女と表裏一体となることに気付き、ここから改善策を考えようという興味深い取組であった。改善策まで十分時間をかけられなかったのもう一度2クラスの授業の感想を持ち寄り、ネット憲章をより良いものにし、最後の生徒総会で執行部による提案に盛り込ませたい。
- ◎動画を視聴し、書類送検された少女は「青中ネット憲章」の何が守れていなかったのだろう…というところから始まった。話していく中で、決して自分たちとかけ離れた問題ではないと気付き真剣に話し合う姿がみられた。自分のことしか考えていない、物事を深く考えていない、バレなければいいと思っている、その時の感情に任せて送ってしまう、この後どうなるか結果やその先のことを考えていないなど、実に様々な意見が出た。「やってはいけないことをやってしまうのはなぜか」という中心発問では、各々の過去の体験を織り交ぜながらその時の心境を語り、そこで踏みとどまることの大切さを考えていた。様々な貴重な意見が出る中で、解決法を出し合う途中で授業が終わってしまったことは残念であったが、担任と生徒たちが本音で語り合える様子に日頃の指導の成果を感じた。
- ◎事故のニュースから中学生の悪質なメールへと、一気に自分たちの同年代で身近な問題と変わった。自分のこれまでの体験を通して、SNSの問題について考えることができたと思う。「その場のノリで」「かっこいい」「好奇心」といった本音の意見も出されて、「やってはいけないことをやってしまうのはなぜか」という目当てにせまることができたとし、解決策について話し合うところで、今後の「青中ネット憲章」の推進に向けて、深まっていくことを期待したい。
- ◎喫緊の課題と時事問題を上手く絡めて取り上げられた良い題材だったと思う。本時の内容は事故の被害者・事故の加害者・ネット中傷加害者の三者が登場するものの、情報がどれか一方だけに偏向しないよう中立的にフラットな視点で述べられていたことも良かった。そのために予め用意された動画の編集や扱い方も良かった。生徒同士の語りでは率直な感想を述べる者や、過去をふり返って自身の誤った行動を吐露する者もあり、与えられた課題に正直に向き合う姿を見ることができた。そうした姿が見られたのは、日頃からお互いに意見を言い合えるクラスの土壌があったからだと思う。授業の導入から展開までスムーズで無駄や欠点のない授業だと感じた。強いて言うならば、最後のまとめの時間に生徒の意見が聞けると尚良かった。時間的に致し方ないとは思っているものの、生徒自身の今後の行動変容に繋がるような具体的な行動や解決策を共有できたら良かったと思う。ソーシャルメディアの扱いを改めて考える非常に良い契機になったと思うので、今後はネット憲章にとどまらず、「STOP THINK GO」の内容を含めて“健全なSNSの付き合い方”を考える機会へと発展させてほしい。